

道

2021・9・22

通信 No 1653



アキ/タムラソウ

「御無沙汰しています」

中山英雄

長らくのごぶさたでした。お詫びいたします。いつも道通信をお送りくださり、ありがとうございます。二年近くにもなるコロナ禍で合唱団の練習や運営も困難な状況と拝察しています。この状況の一日も早い終息を願い、皆様の御健康を祈るばかりです。

道通信 N01648 号 (21. 8. 18) に同行二人の旅③第 1 番、霊山寺の記事を拝見し懐かしくなりました。鳴門市 (旧板野郡) 板東町は日本でのベートーベンの「第九」初演の地として近年全国に知られるようになりました。四国霊場八十八ヶ所 (寺) の第 1 番札所です。実はこのお寺の前の道は南下する緩い下り坂で、三分も歩くと旧撫養 (鳴門の旧名) 街道につき当たります。その左角には「角屋印刷所」の甲板が目につきます。

(NHK のドキュメンタリー番組に出たことがあります。) ここが私の母の実家で 1945 (昭和 20) 年 7 月の徳島市大空襲 (市の 7 割が焼失、死者 1,400 人強) の後、私達家族の疎開先となりました。そこで小 6 から高 1 まで住んでいました。その頃の私の遊びについて書きます。

室内遊技はトランプ、花札、用水地や溜め池・小川での水泳、途中すいか畑ですいかを 1 ケもぎとり、食べた後、厚い皮の半分を鉄かぶと代わりに頭にかぶって泳ぎました。夕方桑畑に行くと、木に沢山の蝉が止まっています。殻をつけて低木に登っているのを捕まえて家で羽化させます。虫籠の中で歩き回っていたのがピタッと止まり、しばらくすると茶色い殻の真ん中に縦のすじが入り、そこから 30 分かけて外に出ます。緑色がかって羽はブヨブヨ。さらに 30 分位で成虫になります。当時兎を飼っていて、30 匹まで増やし、一匹 300 円位で売って小遣いかせぎをしました。古い昔 (70 年前) の思い出です。

中学、高校は徳島市内の学校に通い、本当に楽しい学生生活でした。音楽部に所属し合唱活動に酔いしれました。ここが私の音楽生活の原点です。当時は敗戦後間もない頃で社会科の教科書の表紙には「民主々義」と大書きされていました。戦後 4 年経った 1949 年、三鷹、下山、松川の 3 大謀略事件が起こされ、共産党の非合法化など民主々義への大弾圧の時代に入り、米・日の支配権力によって、現在まで国民抑圧の政治が続いています。戦後 76 年、国民の覚醒によって、一日も早く民主々義的な政府を作る事が必要です。今後はどうなるのか、どうするか。

無謀にも、多くの国民の反対を押しきって IOC、政府、五輪組織委員会は五輪を強行し、コロナ対策を怠り、感染拡大を招きました。諮問委員会の尾身会長の言葉を借りれば「火事が燃え盛っている」状態です。

安倍前総理の「原発はアンダーコントロール」の嘘に始まり五輪招致ファイルの「7~8 月の気候は温暖で安定、人にマイルド (優しい) の大嘘で日本人のウソツキが世界に定着してしまいました。ロシアのテニス選手が「私が死んだら誰が責任をとるのか。」は大げさではなく、真情の吐露です。かつて盛夏に日本を訪れたロシア人、北欧人 (私の友人たち) は異口同音に「帰国して誰に話しても一人も理解できない」と暑さにウンザリとした顔で話しました。

「嘘つき」と言われて、さて私はどうしたらよいかと考え込んでいます。

皆さんはどうでしょうか。

現在の所、10月6日(水)午後6時~
総会と初回練習を開始予定ですが。緊急事態宣言の動向によって不確定です。